

Leaders

2020年8月20日発行

松本青年会議所 vs COVID-19

「61年目のスタートという大切な一歩だからこそ地に足をつけ、今の松本が直面している問題に対して一歩踏み出せるような1年にしていきたい」Leaders Vol.1でそう決意を語った小林理事長。新型コロナウイルスという未曾有の危機に直面するとその時誰が予想できただろうか。そんなコロナ禍での松本青年会議所の半年を振り返る。

2019年

12月 中国武漢市で原因不明の肺炎患者確認

2020年

1月16日 松本青年会議所新年総会、
松本市長選公開討論会開催記者会見

〃 国内初の感染者発表

2月3日 2月第一例会

2月5日 ダイヤモンド・プリンセス号船上隔離開始

2月13日 国内初の死者確認

2月16日 冬の松本観光体験事業実施

2月20日 広報誌「Leaders」第一号発刊

2月21日 新しい地図事業実施

2月25日 松本市長選公開討論会無観客にて実施

主権者意識及び投票率向上へ繋げるために公開討論会を実施しました。当初会場を満席にすべく集客に尽力しましたが、新型コロナウイルス感染拡大をうけ、安全の担保が難しいため無観客での開催となりました。インターネット配信とテレビ中継で討論会の模様をお伝えすることになりましたが、視聴者からは「無観客であったため会場の雰囲気は左右されず立候補予定者に向き合うことができた」など好意的な評価をいただきました。



〃 松本市保健所管内で長野県初の感染者発表

2月27日 3月第一例会の延期を決断

3月24日 感染拡大防止の為のガイドライン発信

4月1日 感染拡大防止の為の活動方針をメンバーに発信

(6月末まで原則すべての事業を延期または中止とした)

4月7日 政府が7都道府県へ緊急事態宣言発出

〃 初のWEBによる三役会開催

4月16日 緊急事態宣言全国に拡大

4月17日 長野県中心圏3域による感染拡大防止策啓蒙活動の記者会見実施



4月21日 初のWEBによる理事会・意見交換会開催

5月9日 姉妹JCである台南LJCと初のWEBミーティング開催



5月14日 緊急事態宣言39県の解除を正式決定

5月15日 日本青年会議所 We Believe 紙面に松本青年会議所感染症ガイドライン掲載



We Believe 誌面

5月19日 初のWEBによる総会実施

5月20日 小林理事長 日本青年会議所石田会頭とWEB対談

6月1日 感染拡大防止の為の活動方針第2弾発信、「新しい生活様式」を基準とした活動開始

6月12日 弘前青年会議所と初のWEBミーティング開催

6月22日 第6回理事会 初の会場&インターネット中継により実施

7月2日 初の会場&インターネット中継による臨時総会実施

7月2日 初の例会 YouTube 配信 ~ 10日 (4月・5月例会)

7月10日 イベント開催制限緩和

〃 山雅 de 松本市街地再発見事業への協力

8月1日 フィジカルチャレンジ事業開催、VFセミナー開催



We BelieveWEB版



WEB版は
コチラから
←

コロナ禍を乗り越えて 松本の針路を探る

新型コロナウイルス感染症の影響が、全世界に影を落としている。私たちが住み暮らす松本は観光都市でもあり、まさに生活に直結する問題だ。未曾有の危機に際し、私たちはどのように対峙すべきか。シニア会の和田稔会長と観光連携推進委員会の足立諒君、長瀬亜沙美君による座談会からヒントを探っていく。



観光連携推進委員会 委員
長瀬 亜沙美 君



2020 年度シニア会長
和田 稔 先輩



観光連携推進委員会 副委員長
足立 諒 君

——新型コロナの影響をどう受け止めていますか。

和田：バブル崩壊とリーマンショックを経験しましたが、今回はケタが違う。どうなるかが全く見えない不安があります。この状態は中長期的に続くと覚悟する必要があると思っています。

長瀬：私は移動販売の飲食業ですが、本当に…本当にすごい打撃です。本来なら今は繁忙期ですが、全てキャンセルです。3年前に松本に帰ってきて仕事を始めて、やっと形になってきて今年も…と思っていた矢先だったので。ただ、コロナの影響で逆に発想を転換するチャンスとも考えています。

足立：私の会社は測量や建設コンサルタントなので他業種に比べれば影響は少ないです。ただ、現場でクラスターが発生しないよう毎日検温したデータを送ってもらうなどの管理は大変です…。



——青年会議所の活動にはどんな影響を及ぼしていますか？

和田：やっぱり、飲み会を含め、語り合える場が無くなった…というのが大きいんじゃないかな？

足立：いやあ…それは、本当に大きいですね（笑）

和田：リモートに限界が見えてきた部分もあると思います。私も Zoom なんかをやるけど、全然伝わらないんですよ。我々の世代が境目で、デジタルデバイスを使える人とそうでない人の分断も起きてしまう。会って目を見ながら話せばいいんだけど、できなくなって初めてコミュニケーションの重要性を感じますよね。

足立：わかります。会議も報告会みたいになってしまいがちです。あと困ったのは採用活動。学生さんは会社の空気感を感じたいし直接会って熱量を伝えたいから対面を希望されるんですが、「会っていいのかな…」と二の足を踏んでしまいます。

長瀬：私はもともと Zoom 会議はやったことがないんです。自分の仕事はお客さんに直接会って想いを伝えて買ってもらうので、それができず本当に大変で、対面の重要性を再認識しました。今回 J C では収録した映像を YouTube で流す——という例会にチャレンジしたんですが、すごく大変でしたよね？

足立：でしたねえ…（笑）。

和田：どういう部分が大変だったの？

足立：臥雲市長にインタビューしたんですけど、「市長が映るならマスクは取りたい」「それには2メートル離れた場所で」といった具合に、感染防止に配慮しながらの撮影



が大変でした。あとは映像編集の作業にも慣れていないので…。

和田：なるほど。でも今回はそういう新しいことが発生したから勉強にはなるよね。会議の件も「これでよかったんだ」という発見もあってブラッシュアップできた部分も

あったというのを感じます。実際に年配の層も Zoom を始めたし、みんな勉強していますよ。そうしないと生きていけないと思知らされた半年間でしたね。

長瀬：映像で流すと何回も繰り返し見て勉強することもできるので、対面とリモートのいいところを取りながら新しい形になっていくのかな？ と思います。

——ただ観光都市としての側面を考えると、非常に悩ましい事態ではないでしょうか？

和田：松本は本当に観光の街。仕事で上高地や美ヶ原に行きますが、特に乗鞍・白骨方面はコロナと群発地震、豪雨災害で三重苦です。もちろん苦しい状況ではありますが、外の方は「素晴らしい街だ」と褒めてくれるんですよ。

長瀬：3年前に帰ってきて、あらためて松本は多様な文化が根付いている街だと感じています。食も音楽も工芸も独自の文化が成り立っていて。以前オーストラリアに4年ほど住んでいたんですが、意外と根付いている文化が少ない。例えば東海岸と西海岸で似たものを食べているんです。日本は松本と木曾でも全然違うし、中町通りには蔵造りのお店がたくさんあるし、松本城も本当に素敵。いろんな人に見てもらいたいです。

足立：私は生まれが名古屋で茨城、東京を経て長野県に来て10年です。それぞれ魅力はありますが、長野県はとにかく空気と山が綺麗だなと。ただ、今は難しい時期ですね。来てもらわないと観光産業は成り立たないけど、大手を振って「来てください」とも言えず…もどかしいです。

和田：逆に地元の方々に魅力を再発見してもらおう——という内需喚起の可能性はあると思います。長野県の他地区に行くと「松本はいい街ですよ」と皆さんに言われます。漠然とではなく、具体的に「松本のここが良かった」と話をしてくれるんです。もっと県内のお客さんに来てもらうきっかけ作りがあってもいいかもしれません。

足立：私たちの委員会は今回、冬の魅力を発見する目的で乗鞍高原の氷瀑を見に行きました。大雨で半分くらい溶けていたんですが、それでも非常に魅力的なアクティビティでした。長野県内、松本の人も楽しんでもらえるポテンシャルはあると思います。

長瀬：私も行きたかったんですけど、ちょうど足を骨折していて…(笑)。あと観光客にアンケート調査をした際、「冬的美ヶ原高原を目的に来た」という方がいました。星がすごく綺麗で有名だとそこで初めて知りまして、私自身もっと再発見したいです。

——さまざまな制限がある中でも、今後へのヒントも得られましたか？

足立：J Cの活動なら対面と Zoom を並行利用することで幅は広がります。例えば子どもの面倒を見なければいけない方が家から接続できるようになるなど、より多くの人に関わってもらえる可能性はあります。一方、お酒の入った意見交換の場がないと濃密なコミュニケーションが難しいので…どうなっていくのかなど。激論を交わした会議の後の意見交換会で分かり合えたりもするわけで(笑)。

和田：それは昔からそうですよ(笑)。

足立：ビジネスライクになりすぎるのも寂しいです。でも課題がたくさん出て、より変われる大きなチャンスでもありますよね。

和田：いま必要性を感じないものに対して人は興味がないから、この事態がなければ進まなかったかもしれません。J Cが60年間やってきた「新しいものへのチャレンジ」に尽きるんじゃないでしょうか。誰もが初めての経験をして、意識が変わる年。こういう時こそJ Cの皆さんの力量が問われると思って期待しています。



長瀬：ありがとうございます！ J Cの先輩に仕事の相談をさせてもらおうと、チャンスだと捉えて前向きな意見が多かったです。すごく背中を押されましたし、そういう先輩がたくさんいるJ Cに入れて本当に良かったと強く感じました。仕事の面で先が見えないのは事実ですが、先輩の背中を見て勉強しながらチャレンジしたいです。

足立：チャレンジという意味では一番やりやすい時期ですね。新市長も誕生して「より良い松本を残すためにどうすればいいのか」とみんなが考えだしているのは本当にすごいこと。観光・宿泊・飲食など大打撃を受けている方々も多いので一概には言えませんが、いい方向に変えられると思います。シニアの先輩にもお力添えをいただきたいです。

和田：シニア会には昔から「金は出しても口出すな」という不文律がありますので、押し付けにならないように応援しますよ(笑)。皆さんの活躍を期待しています。

2021年 28年振りに 「北陸信越地区フォーラム」が松本に戻ってくる！

私たち松本青年会議所は2021年に開催される第63回北陸信越地区フォーラムを主管することになりました。直近では2015年に長野ブロック大会を主管しましたが、地区フォーラムについては1993年以来、28年ぶりの主管となります。

2021年度の北陸信越地区協議会が展開する運動の最大の発信の場となりますのでしっかりと連携をとり、準備していきたいと考えています。

新型コロナウイルスの影響もあり、今後私たちを取り巻く経済圏は大きく変化する可能性があります。首都圏、関西圏だけでなく新潟、富山、石川、福井、長野と5つの県からなる北陸信越地区は大きな可能性を秘めています。まずは多くの会員の皆様に松本の魅力を発信することはもちろん、我々松本青年会議所としても絶好の成長機会と捉え一丸となって取り組んで参ります。来年の北陸信越地区フォーラムにご期待ください。

61代理事長 小林 篤 史



前回松本開催は1993年。国宝松本城400年祭り・信州博と同時開催だった。

新入会員紹介 (未来の JAYCEE 育成会議)

2020度は10名が入会しました。新しい仲間をよろしくお願いいたします。



今井 泰司
高原物産(株)
専務取締役



上條 僚士
南華松煙火
専務取締役



斉藤 佳典
プロダクション Fileo
代表



沈 仲達
松本粥本舗
店主



大門 徳久
M・T・Bdinig's
店長



中野 英二
上州屋
専務取締役



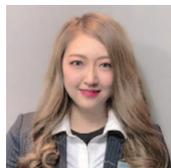
瀨 堯二
尚電算オフィスオートメーション
代表取締役



古畑 晋平
信産倉庫(株)・南クラマエ
専務取締役



間瀬 大吾
リニア電気工業(株)
代表取締役



松井 愛実
Snack ROMANÉE
オーナー



8月1日に入会后初企画した子どもイベントを開催。短い夏休みの1日目を思いっきり楽しんだ。

今後の
事業

～同じ空を見あげよう！

咲かせよう！みんなの心に希望の華を！～

未来の宝である子ども達や市民の皆様へむけて、長野県の伝統工芸品である花火を通じて皆様の心に未来への華を灯します。

日時 2020年8月29日(土) 20:00～20:15
(天候不良の場合、2020年8月30日(日) 20:00～20:15)

場所 感染拡大防止の為に非公開 主催 一般社団法人 松本青年会議所

後援 長野県 松本市 松本市教育委員会 松本商工会議所



編集後記

「松本青年会議所の運動を多くのひとに伝えたい」そんな想いで発刊した Leaders. vol. 2 ではもっと多くの活動を皆様にお届けする予定でした。しかしコロナ禍の影響は大きく、この半年思うような活動ができませんでした。コロナの影響がどこまで続くかわからない中悩みは尽きませんし正解もわかりません。それでも今できることに小林理事長始め、メンバーが一生懸命取り組んでいます。まだまだ時間はあります。松本青年会議所、後半戦の運動にぜひご期待ください！！

広報渉外拡大委員会
委員長 竹内 隆



紙面向上のため、アンケートにご協力をお願い致します。
← QR コードよりアクセスください。



一般社団法人 松本青年会議所 広報渉外拡大委員会

事務局 〒390-0811 長野県松本市中央1-23-1 松本商工会館3F
TEL.0263-32-7646 FAX.0263-36-2024
HP <http://www.matsumoto-jc.jp>



公式サイト



Facebook



Instagram

一般社団法人 松本青年会議所は
SDGsを推進しています。

